



分子研を去るにあたり

倉橋 直也 量子科学技術研究開発機構 NanoTerasuセンター 研究員
(前 物質分子科学研究領域 特任助教)



分子研での自由な生活

くらはし・なおや / 2017年京都大学大学院理学研究科博士課程 研究指導認定退学、2017年上智大学理工学部プロジェクト・ポストドクター、2018年 理学 (博士)、2019年東京大学物性研究所 特任研究員、2022年分子科学研究所 特任助教、2025年現職。

ご縁がありまして、2022年12月より2年半ほどお世話になりました。横山先生とは興味のある領域や研究分野が大きく異なるにもかかわらず、快く受け入れていただき、自由な環境で研究させていただきましたこと大変感謝しております。

学生時代の指導教員が分子研出身だったこともあり、分子研で研究させていただけることは光栄でした。一方で、私の専門は高分子科学、NMR、放射光など学際領域が中心になっていたこともあり、分子研でどのように振る舞えば良いのかという戸惑いもありました。しかし、横山先生をはじめ分子

研の先生方から、自分の思うように好きにやったら良いというご意見をいただき、文字通り好き勝手に研究させていただくことができました。その結果、九州大学、同志社大学、名古屋大学、東京工業大学、東京都立大学、東京理科大学など、非常に多くの大学との共同研究を始めることができ、研究領域が更に広がったと考えています。分子研内でも、UVSORだけでなく機器センターの NMR を非常に長時間使用させていただくことができ、多くの成果を得ることができました。

現在は、またご縁があり次世代放射光施設 NanoTerasu のRIXSビームラ

イン担当者として採用していただきました。分子研での出会いや新しい共同研究を大切にしながらこれからも研究に邁進していきたいと考えております。

最後に、PIとして様々なアドバイスをいただき、自由な環境で研究させていただいた横山先生、分子研に誘ってくださった杉本先生、研究室内外で環境を整え支えてくださった栗田さん、分野が違いながら色々と研究の相談に乗ってくださった前島先生、山本先生、事務手続きや測定のわがままにお付き合いくださった機器センターの皆さま、いつも気遣ってくださったUVSORの皆さまに深く御礼申し上げます。



外国人研究職員の印象記

Living and Learning in Okazaki: My IMS Experience

Pushpander Kumar (Specially Appointed Researcher)
Department of Photo-Molecular Science



I am from India, and my time with the Ohmori Group at the Institute for Molecular Science (IMS) in Okazaki has been one of the most meaningful and

rewarding parts of my academic journey. Working here has given me the opportunity to learn many basic and advanced experimental techniques and to be part of a